

1. 屋良朝苗日誌について

屋良朝苗日誌（以下「日誌」という。）とは、米国統治時代の琉球政府で初の公選主席、本土復帰後の沖縄県で初代の沖縄県知事を務めた屋良朝苗氏が、1953 年（昭和 28）1 月から 1985 年（昭和 60）10 月までの三十年余りにわたって書きつづった 125 冊の日記とメモ帖類である。

日誌の原本は屋良氏の遺族により読谷村に寄贈され、沖縄県公文書館は原本から複製を作成して所蔵している。

2. 日誌の公開及び翻刻の利用について

(ア) 日誌の公開について

沖縄県公文書館では、手書きの文章を読みやすくするために、ワープロによる翻刻作業を進めている。本翻刻はその成果の一部である。

日誌は、沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例第 11 条の規定により、個人の秘密の保持その他合理的な理由により利用に供することが適当でないと判断される情報については黒塗り処理を行っている。

(イ) 翻刻の利用について

日誌の一部を出版物等に掲載しようとする場合は、沖縄県公文書館管理規則第 9 条（出版物等への掲載）の規定により、あらかじめ「出版物等掲載許可申請書」を沖縄県公文書館指定管理者に提出し、その許可を受けなければならない。

翻刻に誤りが見つかった場合には、都度、改訂するものとする。その際には改訂箇所および改定日が分かるようにする。

3. 凡例

(ア) 文体・語句・送り仮名について

- 語句は基本的に原文のまま表記した。
- 誤りと思われる語句は後ろに〔ママ〕と付した。
- 当て字は原則そのまま表記したが、分かりにくい場合には、〔 〕で正しい漢字を補足した。
(例) 渡屋〔都屋〕
- 判読できない文字は、文字ごとに■で表記した。何文字かが不明な場合は、■■●〔■■■?〕のように表記した。

- 語句を補足したほうが意味が分かりやすい場合には、[] で補足した。
（例）[昭和] 43 年
- 送り仮名は、意味が通る場合には訂正せずにそのまま表記した。
- 脱字がある場合には、[] で補足した。

(イ)句読点について

- 句読点は書かれている通りに表記した。

(ウ)漢字の表記について

- 旧漢字はそのまま表記した。
- 略漢字は正しい漢字に直した。

(エ)書き損じ・見せ消しについて

- 屋良氏により書き損じが訂正されている場合には、訂正後の語句を表記した。
- 屋良氏による見せ消しは、そのまま残した。

(オ)改頁・改行・スペースについて

- 原本において日記の文章が次頁まで続いている場合は、翻刻においては改頁せずにそのまま続けた。
- 翻刻における改行は基本的に段落の前後のみとし、日誌原本にある改行とは必ずしも一致していない。
- 屋良氏自身が空けた文中のスペースはそのままとした。
- 段落の初めは一字空けた。

（2019 年 3 月 31 日）

32

12.23 ゴザ [コザ] 市長

①、総合運動場

概算要求 324,000 万弗

泡瀬港 200,000 万 [2 億] 弗 } 獲得依頼

2、グラウンド敷地代 差損補償額 5 万弗

3、モーターボート法競艇場立法要請

4、海洋博の件

5、第一次内示 1.3～1.5 の間 東京事ム所からの電話

12.27 新屋敷 中村校長

① 体育館建設費増額の件

学校 那覇高校 浦添〃

知念〃 中部商業〃

普天間〃 前原〃

名護〃 北農高校

現予算 107,000 弗

面積 936 m²

追加予算 52,000 弗

所要面積 1000 名以上の生徒では 1,350 m²

国家公員 7,300～6,800=500 名

内陸型労力集約型企业

② 読谷地区インダストリアルパーク

調査費 6100 万円=16 万弗

通産省企業局立地政策課の予算

12.28 全職員

1、19818+402=20,220 人

行政事ム部局 各行政委員会

議会、サイバン等

496 人? 439 ?

(定員)

国から指定価値あり 軍用地であると法律上不能

沖縄の全軍用地料÷1,000 万弗

内 読谷 10%強 110 万弗

110×6.84.7÷500 万弗

読谷砂糖製産高 35 万弗

総面積 900 万坪

内 650 万坪 約 72%

異例 関連四法案 国会通過に当って。

~~1、思ったより沖縄国会は難行〔難航〕した感じであるります。~~

2、衆参両院で相当の時間 日時を要して論議が交されたと思うがしかし衆議院では委の本会議では二回にわたって野党欠席のまま異例の採決となった事は沖縄に取って極めて重大な問題であっただけに残念であります

3、しかしこれで沖縄返還の批じゅん可能の条件はそろったわけでその背景で批じゅんが両国で行われ その交換もまちがいなからうこれでいと思いますしたがって復帰の実現に大きく前進し見通しがはっきりついたわけである。りますのでが全く身近かなものになってきましたので私としては出来得るだけ早い復帰早くいわゆる 4 月 1 日復帰を望みます

4、返かん協定をはじめ諸法案に県民の要望が全面的に反映された形で採決、成立したとは云えないが、しかし結局四囲の状況から、行きつく所に行きついたと云う感じである

5、そこでわれわれは国会を通過したこれら協定や法案のもとでなお経るべき手順 貴重な試練と経験を今後も沖縄をとりまく諸情勢の中に充分これを生かして健全な新生沖縄の建設に邁進する決意を新たにしていかなねばならぬと思ひます特に今後の県民の福祉については国にも十分と責任をもって見守ってもらわねばならないが又それを大きく期待するのであるが県民自体も希望をもつて積極的な展望をもって対処していかなねばならぬ

7、最後に私としては現段階ではより健全にして円滑な復帰の実現を期待し且祈る気持である

47. 1. 4 通貨問題要請の骨子

1、沖縄の本土とは異質の強烈なドルショックの実情を訴え、その根本対策として出来得る限り早い時期に通貨切りかえ実現を要請する。米国との外交折衝を要請。即時切りかえは県民福祉保障の為絶対に必要であるので沖縄県民の直接の福祉の責任者たる米国がそれを拒める理由はないむしろ積極的に推進す

べきである

2、交換レートの特

1 : 360 にこす事はないが少く共、1 : 360 交換の実質的効果が期待出来る様な政治的配慮を求める。

3、通貨交換の時は軍雇用者の給与は 1 : 360 で換算せしめる事
いかなる場合でも給与に差損を生ぜしめぬ様に米国に方法を講ぜしめる事
若し不可能の時は国の責任において補償の方法を講ずる事。

緊急対策

1、総理はじめ関係大臣は弗問題では沖縄に不安と不利益を与える事は絶対にしないと云われた。しかし実際は変動相場制実施依頼その不利益が大きくあらわれてきている。

例① 弗の流出し 通貨の量が減小しつつある 通貨量の減小は銀行融資に大きく影響し企業運営にまた影響する。早くこれを防がねばならぬ

その為には一刻も早く弗流出の方法を講じなければならぬ

それで要請したい事は 10 月 8 日に確認した資金の補償額を支拂い [支払い] してもらいたい その事を強く要請する。

2、例② 旅行者の所持金交換の時の然るべき損失、これを補償してもらいたい事 また東京事ム所の職員の給与の実例

3、企業の救済措置を講じたい。経済変動に伴う緊急対策資金

1. 3→1. 6 上京記者会見メモ

1、会った諸大臣

{ 佐藤総理大臣
福田外務大臣
水田大蔵大臣
田中通産大臣
山中総務長官
渡海自治大臣

2、総理、外務大臣には

- ① 返還期日に対する要望 出来得れば 4 月 1 日
- ② 基地の態様その整理縮小を要求 その展望に明らかにしてもらいたい事
- ③ 核基地の撤去とその確認の方法を明確にしてもらいたい事
- ④ 通貨の切りかえを早期に復期 [復帰] 以前に実施出来る様
米側と話をつけてもら [い] たい事

⑤ 総理には通貨問題について不安、不利益、損失等に対する緊急対策を早急に講じてもらう様要請し関係当局に事後的検証を指示してもらい度い事をくり返し要望し承諾を得た。この事は大蔵大臣についても同じである。

3、大蔵大臣、通産大臣には主として通貨問題について訴えた。

4、自治大臣には 新しく発足する地方自治体としての沖縄県、又、各市町村の予算、措置に対する協力要請をする

5、返還期日については4月1日主張はするが総理は核兵器の撤去がおくれればのびるかも知れないと云い外相は地主との土地契約や地籍の調査等で4月1日は間に合いそうにない云う

基地の整理、縮小、核基地の撤去については議題にも出るので十分努力したいとの返事であった

6、通貨問題に着いては総理、外相大蔵 三人三様異なる意見であった 総理は日米話し合わねばならないだろう。外相は議題には予定していないと云う、大蔵は米側と話し合い度いと。なお空港では外相は皆でよく話し合って来ますよと云っていたが何の事かは不明

7、外務、大蔵、総務長官 田中大臣方と話し合って共通の件は1：360での交換は不可能である 交換はやはり固定レートによる外はないと。但し県民の不利益差損は県民の長い間の労苦に報いて360になる様に補給 或は補償すると「ママ」事にする外ない

と云う事は実質1：360交換の効果をもつ様な措置をとっていくと云う事である

8、給与の換算はまた別に考慮されてよいのではないかと外相は云っていた

9、変動相場制、固定相場制の実施以来県民の受けている打げき損害等については実例に依って説明 これは皆が了解 そこでこの対策について事ム当局に早急な方法を検討する様、大蔵、総理に指示する様要請 両大臣 直ちに指示、沖縄側当局とも話し合いをさせる事に合意した 早速5日の午後 瀬長室長、喜久川局長は大蔵省の前田審議官はじめ、2、3の係官と会って話し合いをはじめている。両人は東京に残り対策庁当局とも話し合いをする事になっている。

10、予算については昨日午後第一次内示があった様だ

今度の沖縄関係予算は

① 開発庁で一括計上する予算

② 各省が開発庁と相談して各省に計上数する予算

③ 各省が単独に計上する予算

例えば

（交付税、琉大経費、防衛庁、郵政、気象、海上保安庁）

琉球政府当局 各省に別れて昨夜は徹夜して沖縄関係予算を抽出しているが未だ全部はまとまって判明していない。感じとしてはとてもきびしい様だ今日中にはまとまるだろう。

引続き沖縄県第一年次のスタート予算であるので全力をあげて確保努力する積りである。

資本金 130 万弗

株式額面 1 弗の 150 株

内 51% 民政府保有（76 万 5 千弗）

今後 額面 1 弗 50 仙

売買価格 2.65 弗

1 人当 申込 最高限 3 万株

最低 200 株

希望者が多い時 3 万株を圧縮していく

過去の利益金、積立金 800 万～900 万

1 株の実質価値 5 弗～6 弗

1. 7 瀬長氏からの連絡

① 対外収支の早期補填

{ 荒木那ハ支店準備室長
赤羽関税局長

話し合いの結果希望をもてるとの事

② 企業対策の為の緊急措置についても同じ

③ その他の事については希望もてず

予算問題について要望

① 県政、国政分、沖縄からの要求額

② 第一次内示、第二次はどうなっているか。

内示額が要求額より多いのがある 治山、治水費について然り。

③ 対策費の件、要注意 予算化出来るかどうか考える事。

1. 8 一泉先生 助言

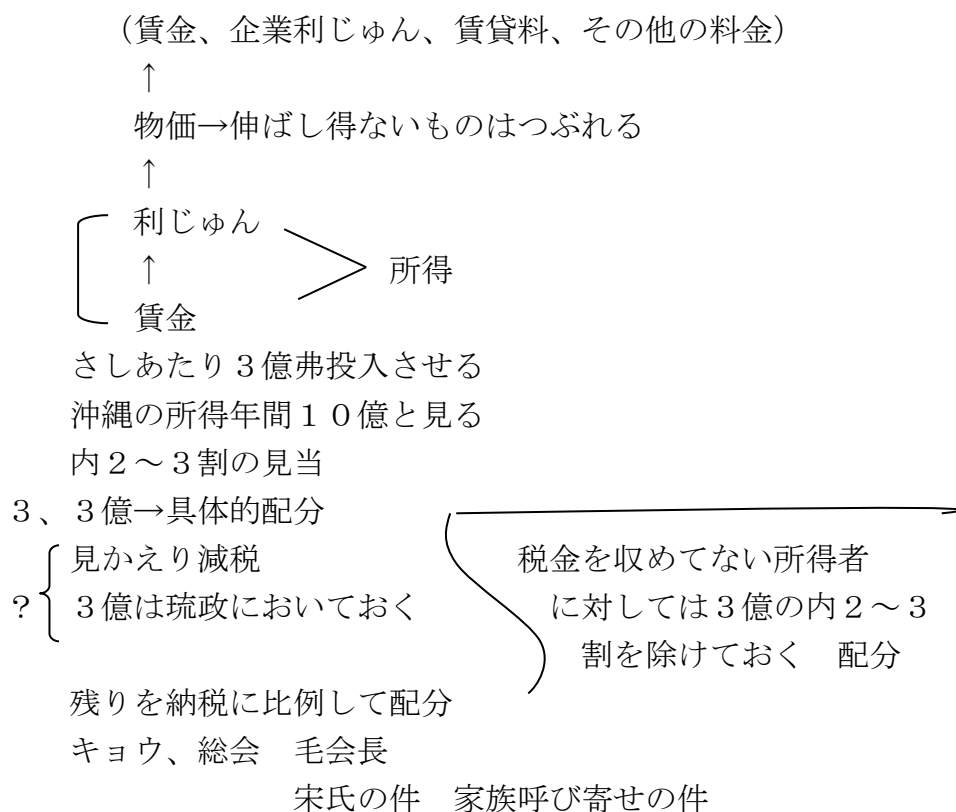
1、賃金、物価を弗価格であげる。

実勢レート交換→実質 360 円

2、足りない弗

① 中小企業 救済資金（低利、無利子、長期）

② 所得差損補償



新予算について

一括計上分

$$\frac{773}{1089} \div 71\%$$

1、達成率 70% まあまあである

2、山中大臣、自治大臣 外関係大臣の努力を多とした

3、沖縄県の発足と云う事に照らして最小限は確得されたと思う。責任を以て沖縄県の発足にあたりたい

4、予算の特徴

公共 290 億
376 億

77%

- ① 予算の拡大
- ② 特に公共事業費、臨時特例交付金の可なり [かなり] の増大
- ③ 沖縄振興開発金融公庫の新設
- ④ 琉大の国立移管
- ⑤ 水資源の開発施設
- ⑥ 復帰関連事業

イ 琉大医学部設置の調査費

- ロ 私立大学新設助成費
- ハ 育英奨学事業費の新設助成費
- ニ 社会福祉面では公的医療施設整備費の増額
- ホ 公共住宅建設費の増額

5、通貨確認業務の措置並び措置もれの一部追加（硬貨、軍用地代）

各省計上分≒2000億

308億 米国償還金

これを減じて2900億要求（軍用地を含めて）

47年度 新予算について、1. 14 東京記者会見

1、一括計沖縄関係経費としては返還協定による米国への支拂い金308億円を除き2,900億円の要求をしたと聞いている。その中で総理府の一括計上分は開発庁経費、振興開発経費、振興開発金融公庫経費その他を入れて1089億の要求であるがその一括計上分については773億円で71%の達成率である

各省庁の見積り調分についてはいくらの歩止り額になっているか分からない
集計中であるので未だ分らない

個々の重要事項については分っているが総額については分っていない

2、この予算は新生沖縄県の初年度の予算として沖縄の平和にして豊かな県づくりのために極めて重大な意義をもつ予算として大事に見守っていた

ところが一次内示は沖縄振興開発に必要な経費として885億の概算要求をしたがその60%しか充たされず非常なきびしさを感じ心配していたが最終段階で82%を獲得する事が出来た（712億）これは上々の達成率であると思う
ここにいたる総務長官はじめ関係当局のご努力を多として感謝申しあげたい

3、この予算の特徴は

① 沖縄関係費の大幅な拡大と質の改善

■■が実現したことである

② 特に公共事業費国土保全、及び開発費 約3倍 産業経済費社会（3倍以上）（土地改良費） 福祉関係費（7倍以上）は前年度に比較して大幅な伸びであり教育文化費（5割以上）についても相当の伸びである

③ 新中公共事業関係費について見ると前年度の152億に対し290億になる 約2倍

④ 沖縄振興開発金融公庫の新設。

融資契約ベースでいくと514億円、交付資金ベースでいくと294億円である

⑤ 沖縄臨時特例交付金510億円の 신설その交付金額によって沖縄への交

付金は普通交付金も含めて 510 億となっている

これには琉球政府借入れ金の元利償還金 15 億が含まれている

⑦ 琉球政府の国県への身分引つぎについての措置

⑧④（イ） 琉球大学の国立移管並びに医学部設置の調査費計上

（ロ） 私立大学の総合整備費の計上

（初年度 5 億、次年度 5 億円約束された

（ハ） 育英奨学事業の新設予算の計上

初年度 5 億 次年度 5 億

琉球政府

⑨ ~~その他~~特に大型プロジェクトとしては水資源開発関係施設整備費の計上、
土地改良、港湾漁港の基バン整備

⑩ ⑧ 住宅建設の飛やぐの伸び公営住宅

⑪ 1000 戸要求に対し 900 戸つく

④ 社会福祉面では公的医療施設整備費の増額

④ ⑫ 通貨及び通貨性資産対策 特別交付金として 261 億円計上

（確認措置もれの一部追加硬貨分 未拂い軍用地料

（1972 年度分及訴願中のもの）

保証供託金、

未払未達の送金カワセ、別段予貯金（銀行振出し小切手及び店長あずかり
金に似合うもの）

⑪ 琉球政府増入金の元利償還の金額 国庫負担予算の計上の実現

⑬ 沖縄未賣収道路用地処理費の計上

⑭ 沖縄海洋博用地購入費の地方債の組入れ。

⑮ 恩給問題の解体琉球政フ職員にかかる恩給改善の全面かいけつ。

⑯ 大体以上の様な質量ともに特徴をもっている予算 沖縄県の発足予算と
しては要求側としてはまあ適当な額と云えよう 私は責任を以て

今年、~~2203 億 8 千 200 万円~~

昨年 ~~433 億 3 千 900 万円~~

47 年 1 月 19 日 9 時 30 分

米国陸軍長官フロルケ長官と弁務官室で面接

ランパート弁務官

フィアリー民政官

クラーク局長外一人

たがいにあいさつの後

1、長官

5 月 15 日の復帰をスムーズに実現したいと念じているが沖縄側には問題はないかとの事

主席 復帰と云う事は沖縄にとって歴史的な大事業である。ここまでいたるのにもう余曲折があり困なん混乱もあつた 今後もやはり相当困んな事態にも当面するだろう、どうせ経るべき歴史的過程を経なければ落つくまい しかし大丈夫 復帰実現は可能であり、また決意もある

2、今日 弁務官、民政官も一緒に説明会があつた。そのテーマは信頼されるアメリカ人、軍人軍属になると云う事であつたがしかし統計的には世論に 59%の沖縄人は米国人をきらいとなっているこれに対する主席の見解は。

主席、

① 兵隊や軍属には不平不満をいたかしめる〔抱かしめる〕悪い無責任な行為行動をしている者がある

② その行為に対するたい捕、そう査、裁判権もなく、その処理結果についても県民に納得出来ぬ不満なものがある。

③ 県民が反対する基地保有の為に無理に土地の接収があつた事から生ずる感情がある

フィアリー民政官

多くの米人は沖縄人と友好的であると

主席 それは理解できるが一部に不心得者がいると皆に誤解を与えるものである 又 もう一 異民族間に起る問題や感情はむづかしいものだと言ふおした

3、これを〔ママ〕話を打ち切る所であつたが私の次の三点について見解を聞く。

① 通貨の件で県民は大変な不利益を受けている これが対策に対する見解。

② 基地の整理縮小と将来の展望、県民は基地のない平和の島を希求している

③ 核基地撤去の確認について

長官の答え

①については資格はないからコメントは出来ない

② 意見と見解に相違はあると思うが世界各地における米軍基地は平和確保の資源である

世界何れの場所も不必要となれば整理縮小撤去していくそれは不必要な所に米国として金を消費する必要はないからだ

③については両国主脳〔首脳〕の間で検討されている。ところで復帰の時は真違いなく〔ママ〕核は撤去されている事はたしかだ。

撤去の確認は科学的には可能であるが政治的にはどうするかと云う事については検討中である。

1. 2 4 通産局長

1、主会場 本部一大港湾

開発効果が高い 海の状態すぐれている。後背地 伊江島 ミンナ 瀬底、景観配置すぐれている

2、八、宮、久、慶、南、中

八、学術センター 海洋保存地域

宮、養殖

久、広大なサンゴ礁の開発

慶、観光

南、水産漁業センター

中、国際会議場

海洋博物館

北、展示を主体とした主会場



テーマ	}	委員会
事業計画		
観客動員		

『復帰記念植樹祭の実施協力方に関する要請決議 1971年9月30日琉球立法院』

沖縄の森林は、今次大戦による戦災と戦後の復興資材供給等のための乱伐によって著しく荒廃しており、国土緑化を強力に推進することが焦びの急務である。

1972年本土復帰を記念して糸万〔糸満〕町摩文仁が丘において全国規模で「復帰記念植樹祭」を実施することは、県民に緑化の重要性を普及啓蒙し、今後の森林資源の培養をはかる上からもきわめて有意義なことであると思料する。

よって琉球政府立法院は、復帰記念植樹祭が最大の成果をおさめることができるよう、本土政府および国土緑化推進本部委員会の格別のご協力をたまわりたく院議をもって要請する。

1971年9月30日

琉球政府立法院

復記植第 3 号

昭和 46 年 10 月 12 日

71 年

社団法人

国土緑化推進委員会会長殿

琉球政府

行政主席 屋良朝苗

復帰記念植樹祭の共催について（お願い）

このことについて、1971 年 3 月 3 日づけ農林第 119 号で通知とお願いをしたところでありますがその後 別紙のとおり復帰記念植樹実施計画の基本方針を決定しましたのでお知らせします。

当府といたしましては、植樹祭の開催をを「ママ」契機に、戦災と戦中、戦後の乱伐によって荒廃した県土の緑化をはかるために、緑化思想の普及高揚と林業の振興に一段と努力したいと存じます。

つきましては、復帰記念植樹祭が立派な成果をおさめることができますよう貴会の格別のご指導とご援助を賜わりたく、同行事の共催についてご高配をお願い申し上げます。

理事会 10 月 25 日

S 47 年 1. 26

総務長官。単独会見

① 植樹祭の天皇皇后両陛下の行幸啓奏請に関する件

② 沖縄のこの問題をめぐる諸情勢報告

そんな事だったら大変な事だと指摘さる

③ 主席としては奏請しないわけにはいかなる「ママ」心境を説明 了解さる かくては 沖縄の在り方は国民感情が到底許容されまい 国民的感情のうち外に迫いやられ今後沖縄問題の解決に致命的な障害になろう大臣も同感

④ 結局私の方としては植樹祭、国体に二回の行幸啓を御願ひする

山中大臣が根廻しをされ その中の 1 つをえられる様にし その機会は 11 月植樹祭をさけて来年 5 月の体育大会をえられる様にしたらとのこと、そうならば救われる

体育大会には全国から若いスポーツマンが集り 機会としてはよいかも知れないと話して居られた

その件 根まわしを大臣に充分依頼する

⑤ 午後 大嶺所長に緑化本部事ム局長を訪ねてもらい、徳川議長と宮内庁訪問の件 照会せしめる

しかし徳川議長不在（伊勢神宮宮司）で普通向うに御住いの由

徳川議長が上京されるのは 2 月はじめとの事、しかし 2 月 ~~2 日~~ は 8 日頃まで宮内庁要路の人は札幌へ出張との事 そうすれば議長と共に宮内庁を訪れるのは 2 月 8 日以後でなければならぬ様だ これは沖縄の伝えられる情報からすると好都合だった様に思う 天の助けかも知れない。

⑥ 海洋万博の用地については大臣は北部をさんせいされていない様だ
この件 大浜先生も同じである 大臣は遠くて残波岬位だとの事

大臣は慶良間にしたらとの話もして居られた 大浜先生は残波の「ママ」宣伝の様だ。これは極めて問題含みだ 必ず一波乱起るだろう 天皇、皇后両陛下の行幸啓奏請と共に大難問になりそうだ。

⑦ 私の知事候補として出馬にもふれておく 新聞で承知しているとして去年の夏佐藤総理から大臣に自民も一緒になって僕を共同推せんして復帰後の沖縄づくりに当らせる様にしたらとの話があったとの事、打ち見た所僕以外には適当な人は居ない様に思うが「と」総理は云われたとの事

しかし人民党がぬけるならともかく それも出来ぬだろうからむづかしい問題だとして誰にも話して居らぬともらして居られた

吉田氏から同じ筋の話を聞いた事がある その様なわけで山中大臣は私の出馬は当然とうけ止めて居られる様に感じた

大臣が沖縄の為に努力している中を沖縄自民党は快く思っていない様だともらして居られた。

⑧ 復帰行事については今流動的 東京・沖縄で開催する事は確実の様だ、ヒ行機でチャーターして東京をすまして沖縄に行くとかの話は確かの事ではない様だ 沖縄で行事粉碎の動きもあると聞いているともうされていた 私は聞いて居らぬが或はそう云う事があるかも知れない

⑨ 最後に毒ガス移送の跡始末の件もち出す

営業損失補償	}	について 御願います
潰地農作物補償		
建築物補償		

大島君を入れて説明させる

これは解決するから心配無用との事、大島君が事ム的に亀谷課長と話をつめる事になる

これ丈「だけ」は前進だ。

1 月 1 0 日 佐藤総理一行迎え	}	の件

1 月 5 日 見送り

① 佐藤総理、福田外務大臣、大蔵大臣 田中通産大臣は揃って渡米される
私は総理にはその日（5 日）他の大臣にはその前日に会見している

総理には返かん期日を出来る丈 4 月 1 日に実現してもらいたい事 基地の整理縮小の展望に明にする事、核基地撤去の確認を明にする事、通貨の切りかえを早期に実施する事 米国と話をつけてもらい度い事等要請 その他の大臣にもそれぞれの事を要請したので1 月 5 日渡米される総理はじめ一行の見送りに羽田に行く事にした 私としてははじめての事で見送り人も知っている人は異様にうつった事だろう

② 私は 1 月 6 日に帰任し 9 日に予算関係で再び上京した

10 日に総理一行帰国された

既に返かん期日も 5 月 15 日決定との事でもあったのでまた在東京でもあったので迎えの為羽田に出向いた

山中大臣など喜んで居られた、有がとうと云って大臣の為にも礼を云う これで仕事もしやすくなると云って居られた

東京政府に帰ってから会見の約束をして一行を迎える
はじめ私は人混みの中に居た 間もなく報道人からの注文もあって前列に立たされた 愛知さんと一緒に話しながら迎える事にした

しかし間もなく総ム長官に呼ばれ閣僚方の所に山中大臣と並んで迎える事になる 拍手に迎えられて総理一行、下機、敷かれたじゅうたんの上を私の所で握手、一寸の間話しあり精一ぱいやったがあれ丈 [だけ] の結果しか出なかったと云う意味の謙虚の御あいさつだった、私も御苦労様でした、有がとうと礼を云って歓迎式場にのぞみ、後方、人混みの中で環境庁長官と話していた 総理のあいさつ 保利幹事長の歓迎の辞、船田衆院議長の音頭で万才三唱、これで終わったと思ったら私の名前を呼ばれ簡単なあいさつをさせられた

突然で驚いたけれども人混みをかきわけて壇上にあがり御礼と歓迎のあいさつを 5 分位のべた

一応為すべき事を為したと云う感じであり良かったと思った

1 月 27 日

植樹祭に天皇皇后両陛下の御行幸啓を奏請する事について

1、46 年 10 月 25 日 国土緑化推進協理事会で 47 年 11 月に沖縄植樹祭決定

2、慣例としては各県知事は直ちに宮内庁に出頭、両陛下の御出でを願い出るとの事、事ム局長からその発言あり議長が沖縄には事情もあろうからと云っ

て主席の意見を質された

沖縄には 1 1 月植樹祭 翌年 5 月に記念国体がある それとのかね合いもあるので如何にすべきか速断を下しかねるとのべた

3、その事 1 月の予算折衝の時に山中長官から私が植樹祭の両陛下の行幸啓を願い出ない事で徳川議長はショックを受けて居られるとの事を聞いた

私は事情を話し了解を求め間もなく態度を決めると話した

私は直ちに副主席の意見を電話で聞き、内諾の旨 砂田副長官に連絡する 砂田副長官から出来得れば宮内庁に奏請を急いでもらいたいと事であったが時間がないのでこの次に奏請する事にして帰る

4、この件、局長会議ではかった所 瀬長氏から大変危いとの発言があった 行幸啓の警備や又反対の動きがある事でも大変だと適切な意見があった

しかし植樹祭は両陛下の臨御は慣例であり沖縄丈 [だけ] 取り止めるわけにはいかないとして奏請する事にした

5、1 月 2 4 日上京、その時の記者会見で記者の質問に答えて出来得れば宮内庁に申し出ると答えた

それが報道され反響が大きくなる 与党からも反対 高教組 県労協 沖教組からも反対申し出があった由、1 月 2 5 日に総ム局長から電話 事は深刻となる 2 6 日の夜 県労協から非常に強い調子の反対電ありショックを受けた。

⑥ 瀬長氏の指摘した心配が起った 全く私の不手際からである 反対世論を表面化させた事は国民に取っても県民としても重大な責任問題である 之は命取りになると思う とにかくうかつであった。

4. 1 0 全軍労の長期ストの経緯

1、1 6 0 0 有余名の解雇が発表され全軍労は全面的解雇撤回を枕にして第二種雇用の合理化反対、通告期間を 3 ヶ月以上にする事等をあげて時間のスト突入を決定した。その連絡を受けて私は直ちにランパートに会う、そこから引出せたものではなく 只解雇者を削減する事について努力したいと云う事だけであった 要は復帰朝まで或は間接雇用に移行するまで大量解雇はやめてくれと云う事であったがその事については恐らくこれが最後であるとおわせる様な事を云っていた。